

## 元旦の太白山頂からの仙台市内方面の眺望(1/3)



### 今年も、皆さんから支えられての一年を過ごせそうです

仙台の3ヶ日は快晴で、例年ほど低温でなく風もなく、穏やかな新春を迎えました。

隣の団地に住む日頃から親しくしていただいているご夫妻が、元旦に太白山(海拔321m)に登ったとかで、山頂から市内を臨む写真(上の写真)を添付送信くださった。

写真の遠くの眺望は、松島方面の山並みと仙台湾(太平洋)。太白山は、昔、漁師が、太白山を帰港方向の目印にしたほど、どこからでも分かる特徴ある山の形(左の写真は、日頃通ってる国道(286号線)から団地への進入道路からの太白山)。

太白山周辺は自然観察の森に指定されており、仙台市民の身近な散策の山であり、途中、鎖を頼りの急な岩場もある。

我が家は太白山麓の団地(海拔95m)内で、若い頃、家族と一緒に自分は一度だけ登ったことがある。子どもたちには格好の遊び場でもあり、また、初日の出を見に何度か登ったよう。

ご夫妻からは、山頂からの写真と共に往復路のGPSの軌跡地図も添付送信くださった。

GPSの軌跡地図なんてどうして作成するのか、その内ご主人に聞いてみようと思っている。

新春早々、写真を送信くださったご夫妻、また、たくさんの年賀メールを届けてくださった方々を始め、皆さんから今年も親しくしていただき、支えられての一年を過ごせそうで、ありがたいことです。